

情熱を信頼に

第101期第2四半期  
報告書

自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第101期第2四半期連結累計期間が終了いたしましたので、ここに第101期第2四半期報告書をお届けします。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期に引き続き、ホルマリン・木材加工用接着剤、合成石英粉、電子工業用高純度薬品、紫外線硬化性樹脂、エンジニアリング事業などが概ね堅調に推移したことに加え、昨年極めて厳しい状況にあったアンモニア系製品のマイナス幅が縮小したこと等から、前年同期比増収・増益となりました。

一方、今後の見通しにつきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等の影響が次第に和らぎ、日本経済は緩やかな回復過程を辿るものと想定されておりますが、ユーロ圏、新興国経済の減速懸念を始めとする諸リスクを抱え、世界景気の先行き不透明感が払拭しきれない状況にあります。

こうした中で、平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、当社関連需要の先行き、為替の急変動、主要原燃料価格の推移等、諸要因の動向をより慎重に見極める必要がありますことから、平成26年5月13日に発表した内容から変更してございません。

### —平成27年3月期通期連結業績予想及び配当予想—

【売上高】	375.0億円
【営業利益】	12.5億円
【経常利益】	16.0億円
【当期純利益】	8.5億円
【配当金】	2.0円

新中期経営計画「NKC-Plan2015」のメインテーマである「安定的な収益基盤の実現」のため、全社総力を挙げて取り組んでいく所存であります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

取締役社長

中村英輔

## 当社グループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間（4月～9月）における日本経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等から、生産面を中心に弱めの動きがみられるなど、景気回復の足取りにもたつき感がみられ、海外経済についても、米国経済の回復が継続する一方、ユーロ圏、新興国経済が全体として勢いを欠き、新たな地政学的緊張も加わる中で、回復力が鈍る等先行き見通し難い状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは、新中期経営計画「NKC-Plan2015」のメインテーマである「安定的な収益基盤の実現」に向け全社挙げて各種経営諸施策に心血を注いでまいりました。

こうした中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期に引き続き、ホルマリン・木材加工用接着剤、合成石英粉、電子工業用高純度薬品、紫外線硬化性樹脂、エンジニアリング事業などが概ね堅調に推移したことに加え、昨年極めて厳しい状況にあったアンモニア系製品のマイナス幅が縮小したこと等から、前年同期比増収・増益となりました。

具体的には、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,237百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は614百万円（前年同期比119.3%増）、経常利益は903百万円（前年同期比85.4%増）、四半期純利益は583百万円（前年同期比61.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## セグメント別の概況

### (無機化学品事業)

アンモニア系製品は、硝酸は主要顧客向け販売が回復したものの、前年同期は液体アンモニアの大口スポット需要があったこと等により、販売数量、売上高とも減少しました。合成石英粉は、第2四半期に入り一部顧客の在庫調整の影響等もあり販売数量、売上高ともほぼ前年同期並みとなりました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水 (AdBlue<sup>®</sup>) は、市場競争の激化が継続する中、拡販努力等により販売数量、売上高とも増加しました。電子工業用高純度薬品は、販売数量は前年同期並みとなりましたが、ウエハー用途向けが引き続き堅調であったことから、売上高は増加しました。

その結果、全体の売上高は8,358百万円 (前年同期比5.6%減) となりました。

### (機能化学品・化成品事業)

紫外線硬化性樹脂は、光学フィルム向け需要が引き続き好調であったことから、売上高が増加しました。TAIC<sup>®</sup> (ゴム、プラスチック架橋助剤)、脂肪酸アミドは、主要顧客向けの販売が減少したこと等から、販売数量、売上高とも減少しました。

メタノールは、販売数量はほぼ横ばいとなりましたが、国際市況が昨年に比べ高値ポジションにあったこと等もあり、売上高は増加しました。ホルマリン及び木材加工用接着剤は、主要顧客の需要が引き続き堅調に推移したことにより、販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は6,399百万円 (前年同期比7.7%増) となりました。

### (エンジニアリング事業)

一般プラント工事受注拡大等により、売上高は1,746百万円 (前年同期比8.9%増) となりました。

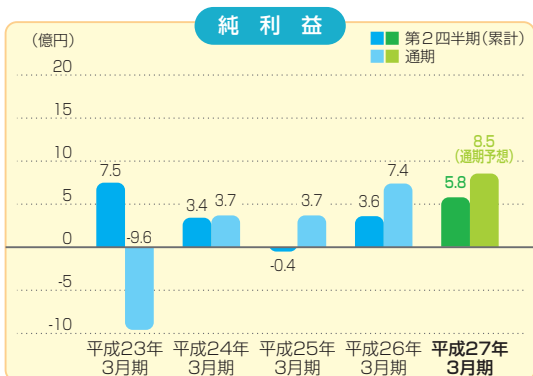
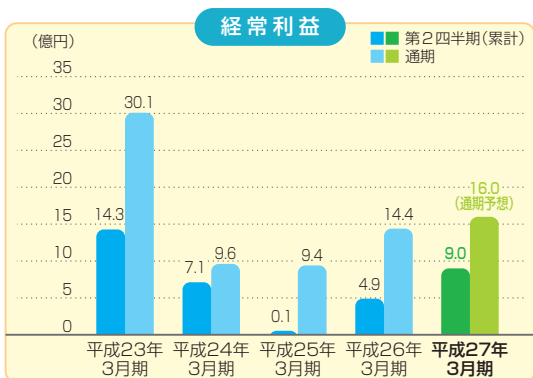
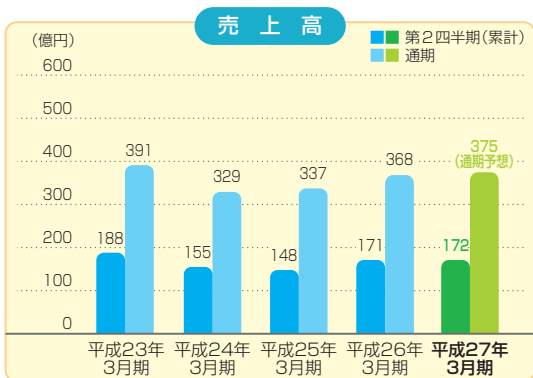
### (その他)

貨物運送・荷役事業は、主要顧客向け需要にばらつきがみられる中で、ほぼ前年同期並みとなりました。有機溶剤等の蒸留・精製業は、一部主要顧客の需要回復等により増収となりました。

その結果、全体の売上高は649百万円 (前年同期比3.7%増) となりました。

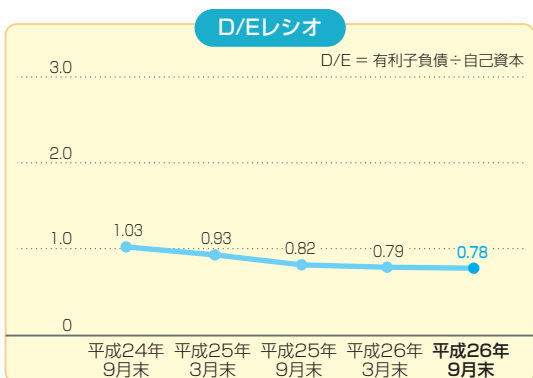
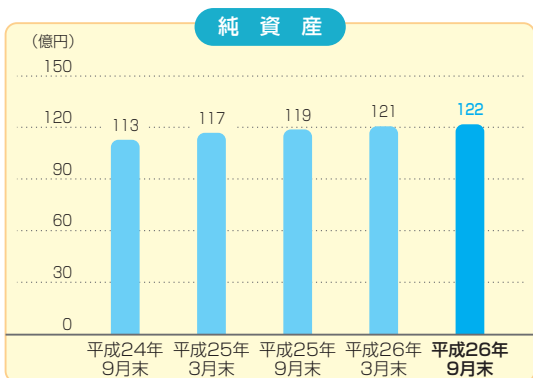
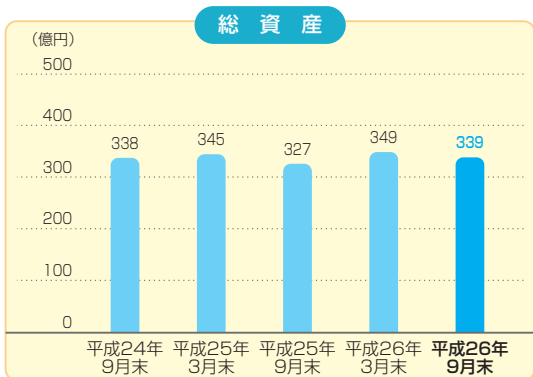


## 連結業績の推移



売上高：億円未満四捨五入

経常利益、純利益：千万円未満四捨五入

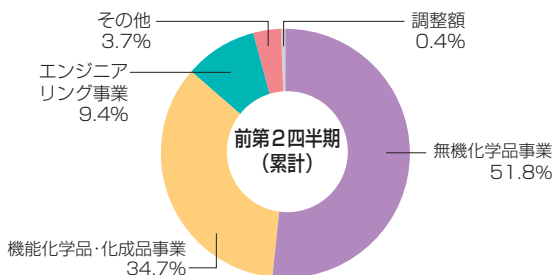
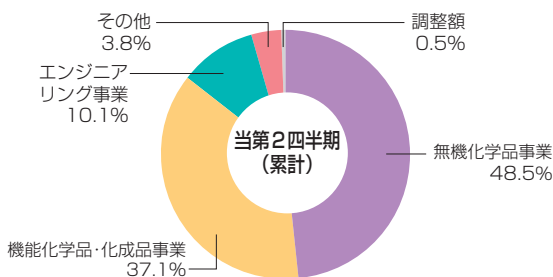


総資産、純資産：億円未満四捨五入

## セグメント別の事業内容

セグメント名	主要製品
無機化学品事業	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）、電子工業用高純度薬品、合成石英粉等
機能化学品・化成品事業	TAIC <sup>®</sup> （ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、2-ピロリドン（有機溶剤）、メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤、石油販売業等
エンジニアリング事業	プラント設計・建設・修繕、建築、土木、保全工事等
その他	貨物運送・荷役事業、蒸留事業等

### セグメント別売上高構成比



(注) 売上高の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない電気及び蒸気の販売であります。

# 連結貸借対照表 (平成26年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
<b>流動資産</b>	<b>16,880</b>	<b>流動負債</b>	<b>17,404</b>
現金及び預金	1,421	支払手形及び買掛金	5,072
受取手形及び売掛金	8,627	短期借入金	9,207
商品及び製品	2,775	未払法人税等	34
仕 掛 品	1,762	賞与引当金	282
原材料及び貯蔵品	1,118	そ の 他	2,809
そ の 他	1,191	<b>固定負債</b>	<b>4,291</b>
貸倒引当金	△14	長期借入金	295
<b>固定資産</b>	<b>17,007</b>	役員退職慰労引当金	50
<b>有形固定資産</b>	<b>10,694</b>	退職給付に係る負債	3,845
建物及び構築物	3,169	そ の 他	101
機械装置及び運搬具	1,912	<b>負債合計</b>	<b>21,695</b>
土 地	4,919	<b>純 資 産 の 部</b>	
建設仮勘定	494	<b>株主資本</b>	<b>12,214</b>
そ の 他	200	資 本 金	6,593
<b>無形固定資産</b>	<b>79</b>	利益剰余金	5,627
そ の 他	79	自己株式	△6
投資その他の資産	6,234	その他の包括利益累計額	△22
そ の 他	6,249	その他有価証券評価差額金	78
貸倒引当金	△15	退職給付に係る調整累計額	△100
<b>資産合計</b>	<b>33,887</b>	<b>純資産合計</b>	<b>12,192</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>33,887</b>



# 連結損益計算書 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		17,237
売 上 原 価		14,144
売 上 総 利 益		3,093
販売費及び一般管理費		2,479
営 業 利 益		614
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	213	
持分法による投資利益	27	
受 取 賃 貸 料	59	
そ の 他	43	342
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	40	
そ の 他	13	53
経 常 利 益		903
特 別 損 失		
減 損 損 失	50	
固 定 資 産 処 分 損	47	97
税金等調整前四半期純利益		806
法人税、住民税及び事業税	60	
法 人 税 等 調 整 額	163	223
少数株主損益調整前四半期純利益		583
四 半 期 純 利 益		583

# 貸借対照表 (平成26年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
<b>流 動 資 産</b>	<b>12,754</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>14,862</b>
現金及び預金	802	支 払 手 形	48
受 取 手 形	101	買 掛 金	2,752
売 掛 金	6,584	短期借入金	9,130
商品及び製品	2,744	1年内返済予定 の長期借入金	207
仕 掛 品	90	未 払 金	586
原材料及び貯蔵品	1,107	未 払 費 用	1,571
前 払 費 用	144	未払法人税等	23
繰延税金資産	414	未払事業所税	15
未 収 入 金	381	賞与引当金	150
そ の 他	396	そ の 他	377
貸倒引当金	△12	<b>固 定 負 債</b>	<b>3,467</b>
<b>固 定 資 産</b>	<b>15,087</b>	長期借入金	295
有形固定資産	10,127	退職給付引当金	3,054
建 物	2,047	役員退職慰労引当金	41
構 築 物	856	そ の 他	75
機械及び装置	1,907	<b>負 債 合 計</b>	<b>18,329</b>
車両運搬具	2	<b>純 資 産 の 部</b>	
工具、器具及び備品	175	<b>株 主 資 本</b>	<b>9,452</b>
土 地	4,664	資 本 金	6,593
建設仮勘定	472	利益剰余金	2,865
<b>無形固定資産</b>	<b>40</b>	利益準備金	199
特 許 権	0	その他利益剰余金	2,665
ソフトウェア	40	繰越利益剰余金	2,665
投資その他の資産	4,918	<b>自 己 株 式</b>	<b>△6</b>
投資有価証券	529	評価・換算差額等	60
関係会社株式	341	その他有価証券評価差額金	60
関係会社長期貸付金	180	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>9,513</b>
長期前払費用	138	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>27,842</b>
繰延税金資産	1,463		
投資不動産	2,321		
そ の 他	77		
貸倒引当金	△133		
<b>資 産 合 計</b>	<b>27,842</b>		

# 損益計算書 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		12,960
売 上 原 価		10,580
売 上 総 利 益		2,380
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
販 売 費	912	
一 般 管 理 費	998	1,910
営 業 利 益		469
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	451	
そ の 他 の 収 益	84	537
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	39	
そ の 他 の 費 用	9	48
経 常 利 益		958
特 別 損 失		
減 損 損 失	50	
固 定 資 産 処 分 損	46	96
税 引 前 四 半 期 純 利 益		861
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	28	
法 人 税 等 調 整 額	139	168
四 半 期 純 利 益		692

## 会社概要

(平成26年10月1日現在)

○商号

日本化成株式会社

○英文社名

Nippon Kasei Chemical Company Limited

○本社

東京都中央区新川一丁目8番8号アクロス新川ビル

○資本金

6,593百万円

○創立

昭和12年9月1日

## 情熱を信頼に

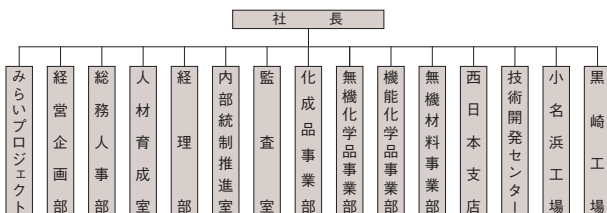
私たちは情熱の全てをお客様の価値創造にそそぎます  
新たな出会いを大切に、積み上げた信頼が  
私たちの未来になることを信じて

 日本化成グループ

# 会社組織及び主要な事業内容

## 組織図

(平成26年10月1日現在)



## 主要な事業内容

(平成26年10月1日現在)

部門別	主要製品名
化成事業部	メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤等
無機化学事業部	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）、電子工業用高純度薬品
機能化学事業部	TAIC®（ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、2-ピロリドン（有機溶剤）等
無機材料事業部	合成石英粉等

## 役員

(平成26年10月1日現在)

地位	氏名	担当又は主な職業
取締役社長 (代表取締役)	中村英輔	
取締役	坂本昭二	技術開発センター担当
取締役	吉森孝幸	黒崎工場長兼 みらいプロジェクトプロジェクトマネージャー
取締役	坂東良和	小名浜工場長
取締役	和賀昌之	三菱化学(株) 執行役員 機能化学本部長兼 同本部 植物工場事業推進室長
常勤監査役	坂部憲治	
監査役	佐藤寛樹	三菱化学(株) 監査役
監査役	美村貞直	弁護士

(注) 監査役坂部憲治、佐藤寛樹及び美村貞直の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

# 株式の状況

(平成26年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 200,000千株
- ② 発行済株式の総数 105,115千株
- ③ 株主数 6,470名
- ④ 大株主

株主名	持株数	持株比率
三菱化学(株)	68,200,500 <sup>株</sup>	64.90 <sup>%</sup>
(株)みずほ銀行	1,850,000	1.76
東京海上日動火災保険(株)	1,254,000	1.19
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	822,000	0.78
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	776,000	0.74
黒木清巳	461,000	0.44
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口1)	441,000	0.42
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	429,000	0.41
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口2)	416,000	0.40
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口6)	412,000	0.39

(注) 持株比率は自己株式(34,194株)を控除して計算しております。

# 主要な事業所／グループ会社

## 主要な事業所

(平成26年10月1日現在)

名 称	所 在 地
本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル7F TEL 03-5540-5861
西日本支店 大阪営業グループ	〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6204-8422
西日本支店 中部営業グループ	〒451-6018 愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー18F TEL 052-565-3554
西日本支店 九州営業グループ	〒812-0026 福岡県福岡市博多区上川端町12-20 ふくぎん博多ビル8F TEL 092-281-6677
技術開発センター	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3115
小名浜工場	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
黒崎工場	〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎城石1-1 [三菱化学(株)黒崎事業所内] TEL 093-643-4010

## グループ会社

日 化 運 輸(株)

小 名 浜 蒸 溜(株)

日化エンジニアリング(株)

小 名 浜 海 陸 運 送(株)

日化トレーディング(株)



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 期末配当金 3月31日 (3) 中間配当金 9月30日
	その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
Tel 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所

公 告 の 方 法

電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.nkchemical.co.jp/investor-j/>  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本  
経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**THE KAITEKI COMPANY**

三菱ケミカルホールディングスグループ

日本化成株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル  
tel 03-5540-5861 fax 03-5540-5961  
<http://www.nkchemical.co.jp/>